

報道された広大

二月

- # 鄧小平氏死去 広大留学生ら「大きな損失」(中国、2・21)
- # 広島大教授 和歌山の梅立ち枯れ調査―総合科学部中根周歩教授(日経、2・23)
- # もみじ川学園都市に春風 広島大(中国、2・23)
- # 学生パワー 若い発想つくり―広島大大学生がシンポジウム(中国、2・25)
- # 受験生ほっと一息 国公立大2次試験No.3ヤマ場越す(中国、朝日、毎日、読売、2・26)
- # 「利用法、議論進まず」広大本部推進調整会議(毎日、2・27)
- # 県央の中核都市 東広島市のハードル 産・官・学の連携―広島大地域共同研究センター(中国、2・27)
- # 地球スライス 活断層探れ 簡単さ売り物―広島大 中田高教授(朝日、2・27)
- # 広島大相撲部5人の貧乏記 食べ放題の店で大食い(毎日、2・28)
- # 青年の国際交流考えよう 留学生2人が講演―広島大大学院生アルフレッド・アンドロス・ラザロさん、広島大研究生周霜さん(朝日、2・28)
- # であるゴルフと私―小林堯 広島大学総合科学部教授(中国夕刊、2・28)

三月

- # 広島大と次世代のインターネット技術開発へ(産経、3・1)
- # 県央の中核都市 東広島市のハードル^{No.4}頭脳集団―生かせぬ広島大教官(中国、3・1)
- # 合格者名の掲示中止 新たに48国立大(読売、3・3)
- # ストレスたまる現代 必要なのは…、広島大の市さん卒業論文で分析―学校教育学部市健治さん(中国、3・3)
- # つながる隣人 当世ボランティア事情―広島大工学部三年谷敏弘さん(中国、3・4)
- # レストハウス解体計画に異議―広島大工学教

編集後記

- # 授石丸紀興(毎日、3・4)
- # いじめ生まぬ学校づくりは、8日広大でシンポ―学校教育学部付属教育実践総合センターと広島大学校教育学会(中国、3・5)
- # 「夢の光」に相次ぐ見学 広大放射光研究センターの実験施設(中国、3・6)
- # 広大歯学部長 長坂教授を選ぶ(中国、朝日、産経、3・6)
- # キャンパス情報どんどん公開 広大が広報室(中国、3・8)
- # 浪人生比率3.5ポイント下がる 広大前期入試合格発表2348人うれしい春(読売、山陽、産経、3・8)
- # インドネシアの医学生招き交流 広大医学部(中国、3・8)
- # 旧広大理学部1号館 活用法考えるシンポ、20日中区で(毎日、3・12)
- # 広大全学で脳研究 きょうシンポ世界的権威も招く(中国、3・13)
- # 教授選考 調査求め文相に陳情書提出(中国、3・13)
- # 旧広大理学部1号館 被爆建物から未来を20日に平和を考える集い(朝日、3・14)

広大フォーラム第28期8号

編集発行 広島大学広報委員会
(庶務部企画調査課)

住所 東広島市鏡山1丁目3番2号

電話 (0824)24-6017

FAX (0824)24-6020

E-mail koho@ipc.hiroshima-u.ac.jp

ホームページアドレス
http://www.hiroshima-u.ac.jp/hiroshima-u/forum/

印刷 ㈱ニシキプリント

広報委員 安藤正昭(委員長・総合科学部)

成定 薫(副委員長
大学院国際協力研究科)

岡本 敏一(副委員長
生物生産学部)

越智 貢(文学部)

森 敏昭(教育学部)

若元 澄男(学校教育学部)

岡本 友子(法学部)

長尾 伸一(経済学部)

竹野 節夫(理学部)

田中 義人(医学部)

栗原 英見(歯学部)

松尾 彰(工学部)

渡邊 敦光(原爆放射能医学研究所)

吉田 二美恵(附属図書館)

西田 正高(総合科学部)

中田 高(文学部)

加登 基二(総合情報処理センター)

佐伯 育郎(附属中・高等学校)

第28期広報委員会による「フォーラム」の最終号をお届けします。今期の広大フォーラムは、「表紙」を若元澄男先生と佐伯育郎先生に、「開かれた学問」を森敏昭・中田高両先生に、「留学生の眼」と「世界の大学シリーズ」を成定薫・松尾彰両先生に、「施設紹介」は「は今」を岡本敏一・渡邊敦光両先生に、「Photo Essay」を竹野節夫先生に、「報道された広大」を越智貢・栗原英見両先生に、「自著を語る」を岡本友子先生と吉田二美恵係長に、「二〇〇〇字の世界」を西田正・長尾伸一両先生に、「サークル紹介」を田中義人先生に担当していただきました。でも、これだけでは広大フォーラムは刊行できません。広報調査係の渡邊勝俊係長と佐藤光江さんの献身的な編集がなければ、今期は一号も「フォーラム」を

刊行できなかったと思います。その他にも、経済学部四年生の滝本勇紀君には、カメラマンとして協力していただきました。また景山満子女史には、毎号優しいカットを入れていただき、多くの読者の好評を得ることができました。みなさまのご協力に感謝いたします。

第29期は岡本敏一広報委員長のもと、新しいスタイルで広大フォーラムが刊行されると思います。読者の皆様が今まで以上に、積極的に「フォーラム」に関わって下さることを期待します。

最近、本学の卒業生から「広島大学新聞に名刺広告の依頼を受けたが、この新聞はどのような性質のものなのか」という電話での問い合わせがありました。確かに広島大学新聞会から広島大学新聞という名の新聞が発行されていますが、広島大学新聞会は学生課に届け出のあった任意サークルにすぎず、**広島大学新聞は広島大学の公式の新聞ではありません。**まぎらわしい名前なので、誤解されている方も多いかと思いますが、新入生の入ってくるこの時期、事実を伝えることが広報委員長の責務だと思えました。

(第28期広報委員会委員長 安藤正昭)

